



# 生涯学習にいがた

No. 69 平成20年1月18日

## 下越地区「社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラム」

下越地区「社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラム」は、11月24日（土）・25日（日）の両日、新潟市産業振興センターを会場に開催されました。今年は民間企業との連携を図り、運動の趣旨を多くの県民から理解してもらうため、BSN新潟放送主催の「キッズフェスティバル2007」と共同開催しました。

内容は「講演会」と「パネル展」で、学校と地域の融合を推進してきた第一人者である岸裕司さん（習志野市秋津在住）をお迎えしました。「地域で子どもを育むネットワークづくりの手法」という演題で、これまでの活動の様子を、ビデオで紹介したり、参加者との質問のやりとりを交えたりしながら、熱のこもったお話をしていただきました。

パネル展は、「スポーツ・文化活動や地域住民との交流活動」等、これまでに子どもを育ててきた代表的な取組を、下越地区全市町村各4枚のパネルにまとめて紹介してもらいました。

全市町村の取組を紹介し合うことによって「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の気運を、これまで以上に醸成することができたと感じています。

今後もこの運動を推進していくことにより、親や家族、地域の大人一人一人が、子どもたちを支え育てていく、地域社会の実現を目指していきたいと考えています。



【岸 裕司さんの講演】

## 上越地区「社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラム」

12月9日（日）、上越市市民プラザにおいて、平成19年度「社会全体で子どもをはぐくむ運動」上越地区フォーラムを開催しました。午前の部は、子育てや青少年教育にかかわる団体と一般市民の交流会で、活動事例紹介やポスターセッションを行いました。事例紹介は7団体、ポスターでの参加は34団体あり、昨年度を上回る参加がありました。午後の部は、NPO法人マミーズ・ネット主管の子育て講演会を行い、「ふうっとひといき楽々子育て」と題してフリージャーナリストの北村年子さんが講演しました。会場は北村さんの話を楽しみにやって来た参加者で、ぎっしりと埋め尽くされました。講演の後は、参加者一人ひとりと丁寧に言葉を交わす北村さんの姿がありました。

これと並行して、子ども・親子向け体験イベントとして、手づくりおもちゃコーナーやクリスマスのお花・ミニ門松づくりコーナー、カップスタッキングやスポーツチャンバラ、BSN新潟放送による「キッズプロジェクト」を開催しました。BSN以外のイベントは、地元の団体が担当して子どもたちを迎えました。どのコーナーにも大勢の親子が訪れ、順番待ちの行列ができ用意していた材料が足りなくなるなど、大盛況でした。作ってもらったバルーンアートの動物や、自分で作ったミニ門松を大事そうに持ち帰る子どもたちの笑顔が印象的でした。



【ミニ門松作りを楽しむ】

昨年度に続いて2回目のフォーラムでしたが、参加団体が増え、会場が親子連れでいっぱいになるなど、様々な交流で盛り上がりました。

**好評につき** アンコール講演会決定！**「しあわせ脳に育てよう」**

講師：(株)感性リサーチ代表取締役 黒川 伊保子

日時：3月2日（日）13:30～15:45

会場：長岡リリックホール

参加費：無料 定員：450名

申込み：電話025-284-6110

※先着順、定員になり次第締め切ります

## 生涯学習職員研修会「第2回基礎研修会」

- ◇期 日 11月22日(木) ◇会 場 県立生涯学習推進センター大研修室  
◇テ ー マ 「地域住民の学習成果の発揮・活用と事業参画による事業推進(学習プログラムづくり)」  
◇講 師 県少年自然の家所長 板垣和伸  
◇研修内容 午前〈事例発表〉 午後〈学習プログラムづくり〉  
◇発表事例

### ◆「住民と協働で取り組むアートプロデュース」～チーム・アルカディア事業をとおして～

発表者：見附市まちづくり課文化ホール事業係係長 高橋善一  
学習成果の発揮や住民参画を目指した取組の紹介。  
・「アートプロデュース講座」の受講生を中心に立ち上げた「チーム・アルカディア」の活動

### ◆「子どもが育つまちづくりボランティア」～夢創造実行委員会事業をとおして～

発表者：阿賀野市教育委員会生涯学習推進室室長 見原健司  
住民の参画や協働を目指した取組の紹介。  
・ネットワークを広げることを目的に立ち上げた「夢創造実行委員会」のこども夢フェスタ2007の活動

### 「講座を進めるに当たってのひと工夫」(板垣和伸講師より)

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| ①協力者の活用                  | ②ワークショップ的手法の活用       |
| ③運営委員会・実行委員会・企画委員会の育成と活用 | ④学習成果の活用場面を提供        |
| ④学習成果の活用場面を提供            | ⑤自主グループの育成           |
| ⑥自主講座の開設                 | ⑦移動講座の開設、他団体・他事業との連携 |



【プログラムづくり】

## 第3回地域・家庭・学校・行政を結ぶ人づくり・まちづくり研修会 ～若者が育つ地域づくり～

- ◇期 日 11月29日(木) ◇会 場 県立生涯学習推進センター大研修室  
◇テ ー マ 「実践事例から学ぶ」  
◇講 師 えにし屋 清水義晴 清水隆太郎  
◇研修内容 午前〈事例発表〉 午後〈ワークショップ〉  
◇発表事例

### ◆「中学校区を基盤としたネットワークづくりに向けて」(上越地区)

発表者：城北中学校区子どもを育てる会事務局長 山岸賢一  
地域(中学校区)全体で子どもを育む活動の紹介。  
・「愛」「友情」「命の尊さ」「信頼や絆」等を考える子ども向けの講演会や子どもフォーラムの活動  
・標語ステッカーづくり  
・大人のための学習等

### ◆「子どもは地域の宝もの集落ふれあい人づくり事業の取組」(中越地区)

発表者：長岡市教育委員会小国分室長補佐 山田典子  
長岡市小国町千谷沢集落総代 田辺英夫  
伝統行事の保存・活用や地域全体のふれ合いを通して地域の教育力を高めることで、子どもたちを育もうとする実践の紹介。

- ・「盆踊り」「秋祭り収穫祭」「賽の神」等昔から行われてきた集落の伝統行事
- ・「集落ふれあい人づくり事業」におけるセーフティパトロールの実施

### ◆「高校生ボランティアによる公民館事業へのサポート活動の取組」

～阿賀町公民館サポーターズクラブについて～ (下越地区)

発表者：阿賀町教育委員会社会教育課社会教育主事 阿部正人  
地域の若者(高校生)が活躍する場づくりについて、ボランティア活動を中心に紹介。  
・高校生が行う小学生の体験活動の指導や引率補助  
・成人式ボランティアなど公民館事業の運営サポートの活動  
・高校を卒業した人たちが「生涯学習サポーターズ」を立ち上げた活動等



【事例発表】

### 「若者を集める6つのポイント」(清水義晴講師より)

- |              |             |                |
|--------------|-------------|----------------|
| ①若者の集まる場所を知る | ②若者の友だちをつくる | ③キーマンを知る       |
| ④関心事を知る      | ⑤情報源を持つ     | ⑥企画段階から参画してもらう |

## 新潟県中越沖地震復興募金

～御協力ありがとうございました～

**募金額 ￥14,424円**

7月から毎月の映画・ビデオ鑑賞会と特別企画の計9回募金活動を行い、映画ボランティアの会長とセンター職員代表が、集まった義援金を12月21日に県出納局管理課決算・資金係に届けました。

## 県立青少年研修センター主催事業のご案内

### 〈2月〉

#### 「青少年指導者グループワーク研修」

…気づきと関わりを学ぶ…

- 期日：平成20年2月9日(土)～11日(月) 2泊3日
- 内容：グループワークトレーニングの理論と実践をとおして、グループワークの理解を深めるとともに青少年指導者としての資質や指導力の向上を図る。
- 定員：30人 ○費用：3,500円(予定)
- 申込締切：平成20年1月26日(土)

### 〈3月〉

#### 「家族で楽しむわくわくランド」第3回

…どんと遊ぼう！家族で春を…

- 期日：平成20年3月1日(土)～2日(日) 1泊2日
- 内容：失われつつある昔の遊びや笹団子づくりなどの体験をとおして、親子・家族間の絆を深める。
- 定員：60人 ○費用：3,800円(予定)
- 申込期間：平成20年2月3日(日)～2月9日(土)

#### ◆会場・問い合わせ先

県立青少年研修センター  
〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1  
(研修課 TEL 0256-77-2111)

## 新潟県視聴覚ライブラリー職員研修会

ライブラリー職員相互の連携を一層深め、ライブラリー運営上の諸問題を解決するために実施しました。平成19年度研修会の主な内容は以下のとおりです。

#### ◇第1回 4月27日(金)

- ・会場：県立生涯学習推進センター
- ・講話「ライブラリーの課題と今後の展望」  
講師 県立生涯学習推進センター所長
- ・実技研修、情報交換

#### ◇第2回 10月12日(金)

- ・会場 上越地区広域視聴覚ライブラリー
- ・実践発表(上越地区広域視聴覚ライブラリー)
- ・情報交換、施設見学

#### ◇第3回 11月30日(金)

- ・会場：県立生涯学習推進センター
- ・研修「ライブラリー運営上の著作権の諸問題について」  
講師 文化庁長官官房著作権課  
著作権教育係長 兼定 孝

#### ◆【著作権の詳しい問い合わせ先】

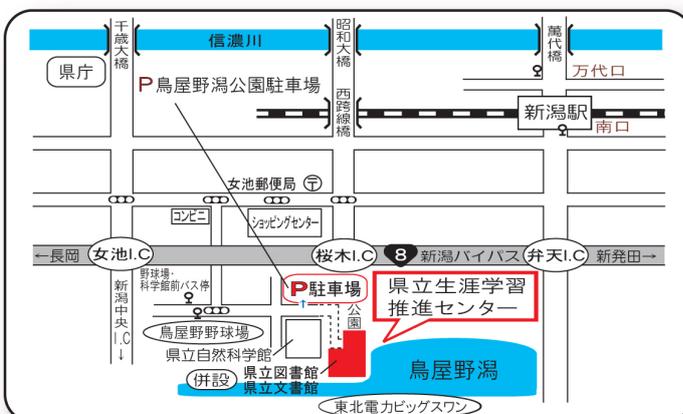
- 著作権テレホンガイド(電話相談)
- ・専用電話 03-5353-6922
- ・期間 月曜日～金曜日  
午前10時から正午、午後1時から4時

#### ◆【電話番号変更のお知らせ】

次の視聴覚ライブラリーの電話番号が変わりましたので、御確認ください。

- 新潟市視聴覚センター 0256-88-7444
- 燕市視聴覚ライブラリー 0256-63-5122
- 十日町市視聴覚ライブラリー 025-750-5101
- 上越地区広域視聴覚ライブラリー 025-545-9214

●新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」
<a href="http://www.lalanet.gr.jp/">http://www.lalanet.gr.jp/</a> 携帯版は、 <a href="http://www.lalanet.gr.jp/m">http://www.lalanet.gr.jp/m</a>
●家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」
TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019
●生涯学習相談(兼新潟県体験活動等支援センター)
TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019

(URL)<http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/> (e-mail)[nlpc@mail.lalanet.gr.jp](mailto:nlpc@mail.lalanet.gr.jp)

平成19年4月1日、新潟市の政令都市移行に伴い、当センターの住所表示が上記のとおり変更になりました。お手数ですが、お手元の住所リストの訂正をお願いいたします。

## 『特別企画』のススメ～魅力ある学習機会と学習情報の提供～

県立生涯学習推進センターの周辺は、県立図書館と県立文書館、更に県立自然科学館と県立鳥屋野潟公園が隣接する『学びゾーン』です。魅力ある学習機会と学習情報を常に提供しています。

### 『タイムスリップ！にいがた』

センター誕生祭として、所蔵する貴重な16ミリフィルム映像を8月と12月の第一週の日曜日に公開しています。平成20年度も開催します。

### 『出張上映会』映画鑑賞会

当センター所蔵の16ミリフィルム映像を、県内各地に出向いて公開しています。第1回は、上越地区広域視聴覚ライブラリー共催で、上越市教育プラザで12月に開催しました。第2回は、3月8日（土）・9日（日）の2日間、佐渡市の「アミューズメント佐渡」で開催します。

アマゾンの大自然と誰も知らない佐渡の原生林の写真などをおして、自然環境保護提唱をしている写真家天野 尚さんを迎え、12月1日（土）映像フォーラム「アマゾンの大自然から 誰も知らない佐渡へ」を開催しました。

再度開催してほしいとの希望が多く、第2回を次のとおり開催します。

第二弾！『映像フォーラム』

### ～写真家 天野 尚が語る～

「世界の秘境に行く～ボルネオ・マリアウ盆地と西アフリカ～」

- ・期 日：3月16日（日）13:00～14:30
- ・会 場：県立生涯学習推進センター・ホール

### 活動紹介

## 映画ボランティアの会

「映画ボランティアの会」会長 谷田 健六

まず、「映画・ビデオ鑑賞会」でどんな映画を上映するのか数多くのフィルムの中から選定するのに一苦労です。よい作品を選定するためには、よい映画を観ることだと思いますので、個人的に映画館に行くように努力しています。

ボランティアの会の集まりは月1回ですが、その日に全員でじっくり映画を観ることにしています。また、選んだ作品については、広報チラシやポスターにして、公民館・学校などへ届け、参加を呼びかけています。

鑑賞された皆さんには、アンケートの記入をお願いし、意見を反映させるようにしています。御意見には、作品に関する以外にも上映時間や会場への要望も出されます。

ポスター掲示の他にTeny・夕方ワイド新潟一番「テレビ伝言板」出演による広報活動も活発に行っています。その成果が出てきて、鑑賞会が始まった当初は、12～13人程度の淋しい参加状況でしたが、最近は毎回200人を超える入場があります。

### センターホールが名画座に！

## 映画・ビデオ鑑賞会

◆1月27日（日）13:00～14:45

《チャップリン没後30年》

チャップリン作品集より

「チャップリンの寄席見物」他4作品

制作：1906年～1916年、劇映画

◆2月24日（日）13:00～15:00

「裁判員～選ばれ、そして見えてきたもの～」

制作：平成18年度、劇映画、69分

### ●特別企画

「裁判員制度ミニフォーラム」

・講師：新潟地方裁判所裁判官

・共催：県立図書館、後援：新潟日报社

◆3月23日（日）13:00～14:40

「あした元気にな～れ！～半分のさつまいも～」

原作：海老名 香葉子 語り：吉永 小百合

制作：2006年、動画、90分

◇入場無料、申込不要、先着順（222席）

◇会場：県立生涯学習推進センター・ホール

## “さわやか”メール

低調になったといわれる社会教育を再生させる道はいずこにあるのか。そのキーワードの一つが「遊び心」ではないかと思うのです。

「俺は、舞台演劇は遊びだと思っている。遊びだからこそ、こんなに真剣に、真面目に取り組んでいられるのだ。」演劇の道を歩いている友人が口癖にしている言葉です。この友人のことを思い出すたびに、「遊びは文化の本質だ」と喝破したオランダの歴史家ヨハン・ホイジンガ（1872～1945）の名著「ホモ・ルーデンス」が脳裏に浮かびます。「遊ぶ人」としての人間の営みは今どうなっているだろうかという考えてしまいます。

市場経済優先による消費・競争社会が一層進み、社会全体に閉塞感が漂う昨今、「遊び心」はしばみつつあるように感じます。戦後の民主教育の中では「啓蒙」「啓発」「指導」「育成」「学習」「支援」などが前面に出て、「遊び」は不真面目なものとして隅に追いやられてきました。

今一度、文化の本質としての「遊び心」という原点に立つこと。「遊び心」のエネルギーに満ちあふれた社会教育の出番です。